



「外国人介護職員の指導担当者向け講座」研修
2021年10月15日

＜松山学園松山福祉専門学校＞

宮崎里司

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授

**日越大学（ハノイ国家大学）日本語教育プログラム総括
全国老人保健施設協会人材対策委員会・人材対策部会員**



1限 ポストコロナを見据えた外国人介護就労者の受け入れ（10:00～10:50）
（宮崎里司 早稲田大学）

2限 介護日本語（11:00～11:50）（宮崎里司 早稲田大学）

<昼休憩>

3限 介護現場での介護日本語力の評価法（13:00～13:50）
（宮崎里司 早稲田大学）

4限 外国人および日本人向けの介護人材用コンテンツ紹介（14:00～14:50）
小林秀樹（株）ロードツリー代表取締役）

5限 介護施設での日本語オンライン学習コース紹介（15:00～15:50）
永田陽子（株）グローバルウィザス）



「外国人介護人材受入環境整備事業」の創設 (資料参照)

今後増加が見込まれる外国人の介護人材が国内の介護現場において円滑に就労し定着できることを目指す事業



「外国人介護人材受入環境整備事業」の4つの取り組み

1. 介護技能評価試験等実施事業

介護分野における特定技能1号外国人の送出しを行う外国において、介護の技能水準を評価するための試験等を実施

→ 3限目で「ワセダバンドスケール」を紹介

2. 外国人介護人材受入支援事業

介護技能の向上のための研修等の実施に対する支援

→ 地域の中核的な受入施設等において、介護技能向上のための集合研修等を実施



「外国人介護人材受入環境整備事業」の4つの取り組み

3. 介護の日本語学習支援等事業

介護の日本語学習を自律的に行うための環境整備の推進に対する支援

→ 介護の日本語学習を支援するための、WEBコンテンツの開発・運用等の実施

4限目で、謝継香講師から、オンライン日本語学習支援の紹介

4. 外国人介護人材相談支援事業

介護業務の悩み等に関する相談支援等を実施

→ 日本で働く全ての外国人の介護人材が安心して介護現場で就労・定着できる環境を整備する

介護の日本語教育の問題点

外国人介護職

何を学習すれば
いい？

介護専門職

介護現場は忙しい！
日本語教育も
わからない

日本語教師

介護は
どんな仕事？
どんな日本語が
必要？

評価ツール：ワセダバンドスケール

- 外国人介護職・介護施設の日本人職員・日本語教師等、みんなで外国人介護職の職場での日本語能力を測定するツール
- 一般的な言語習得の順序とは異なる「介護現場に必要な日本語能力」を測定するツール

ワセダバンドスケールの目的

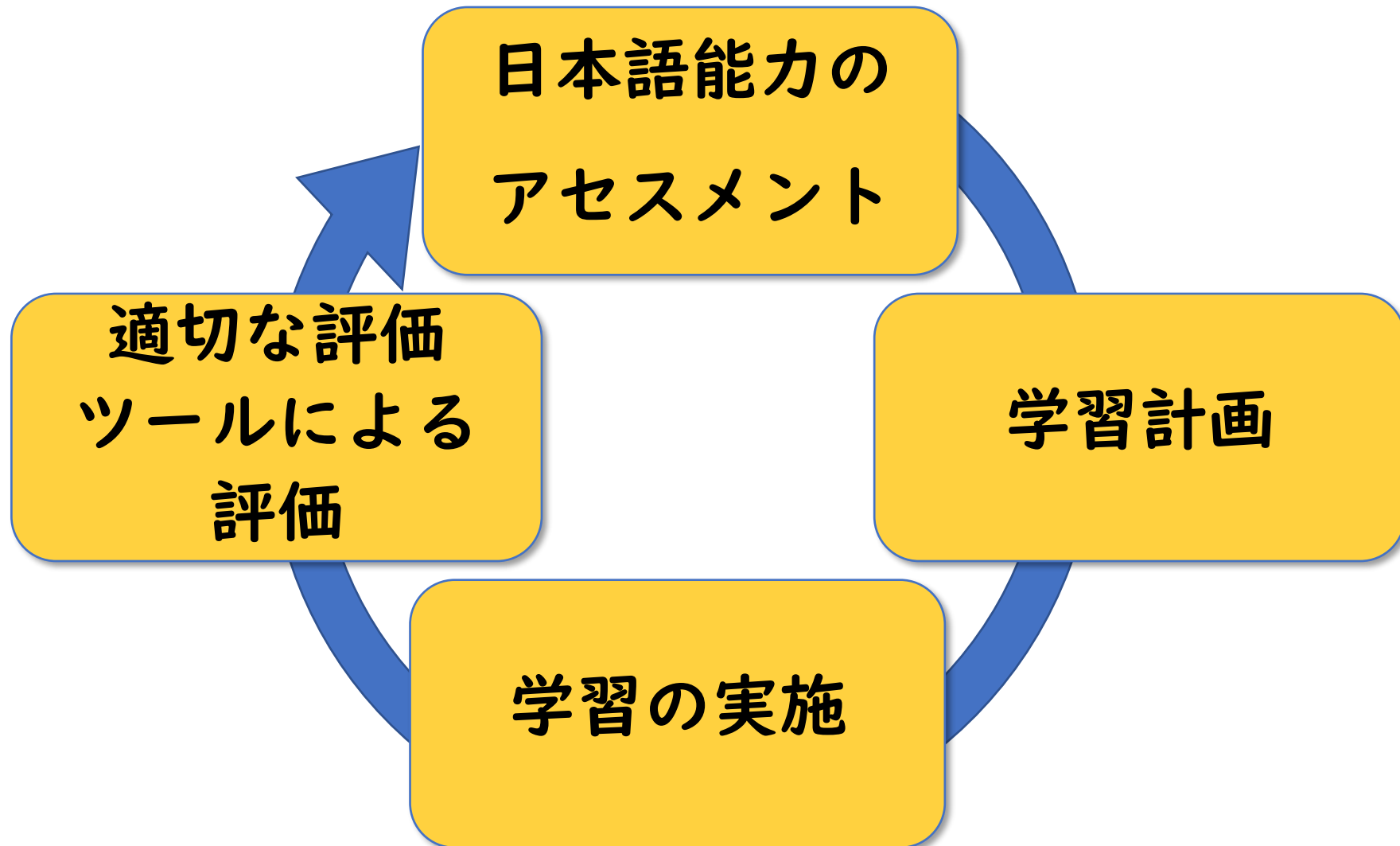
① 協働する：

外国人介護職が日本語を使って介護現場でどのような業務を行っているかみんなで把握する

② 教える力・学習する力をつける：

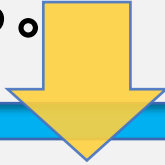
関係者それぞれが、現場実践に繋げるための学習方法を知る

外国人介護職のための 理想的な日本語教育のフロー



ワセダバンドスケールの使用手順

外国人介護職本人も参加する。サポートスタッフや日本語教育担当者など本人をよく知っている人たち複数名で測定する。



ワセダバンドスケールを見ながら、現在の本人の介護現場における日本語能力について参加者全員で話し合う。



話し合いの結果をまとめ、バンドスケールに沿ってレベルを特定する。



レベルを特定したあと、特定したレベルに対応した学習を行う。また、次のレベルに示されている内容を確認し、今後の具体的な学習目標と学習方法を設定する。

ワセダバンドスケール

レベル	読む	書く	聞く	話す
1	よく使う 名を読み ◆業務名 ◆施設名 ◆体の部分	よく使う業務名、施設内の名称、利用者 名が書ける。 ◆業務名→語彙 1	よく使う業務名、施設内の名称、利用 名が聞いてわかる。簡単なあいさつ き取れる。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	施設内の名称、利用者名 が言える。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1
2	よく使う の ◆施設名 ◆体の部分 ◆骨の部分	よく使う業務名、施設内の名称、利用者 名が書ける。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	よく使う業務名、施設内の名称、利用 名が聞いてわかる。簡単なあいさつ き取れる。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	施設内の名称、利用者名 が言える。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1
3	定型的 専門 記録 ◆業務名 ◆施設名 ◆体の部分 ◆骨の部分	定型的な書 専門用語、症 記録で使う言葉 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	定型的な書 専門用語、症 記録で使う言葉 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	定型的な書 専門用語、症 記録で使う言葉 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1
4	異常が 病名を ◆業務名 ◆施設名 ◆体の部分 ◆骨の部分	異常がない場合の記録が書ける。 病名が書ける。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	利用者の要求や訴えを聞き、内容を 理解できる。病名を聞いて理解できる。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1	利用者の要求や訴えを聞き、内容を 理解できる。病名を聞いて理解できる。 ◆業務名→語彙 1 ◆施設名→会話 1

介護の
日本語に
特化

できるよう
になる
(Can - Do)
業務順に
配列

語彙や文法の
難易度
に
よらない
項目配置

四技能別

レベルは
8段階

レベルのめやす

各レベルの目安

語彙・文章編

語彙の学習

- 利用者の名前
- 施設内の名称
- 施設職員の呼称
- 介護用語
- よくある病気や症状などの語彙
- ひらがな
- カタカナ
- 漢字少々

定型表現の学習

- よく使う初級文法
- PC入力方法
- 排泄チェック表等の記入方法
- 辞書の使い方
- 漢字

文章を真似する

- 先輩介護職が書いた介護記録
- 特記事項のない介護記録

文章を書く

- ケアプランに沿った介護記録
- 特記事項のある介護記録
- ヒヤリハット報告

Level
1 & 2

Level
3 & 4

Level
5 & 6

Level
7 & 8

会話編

一方的な会話

- 一方的な声かけ
- 簡単な指示の理解

双方向的な会話

- 気持ちに寄りそった会話
- 専門用語・症状名・病名の理解

心と体のケアのための会話

- ていねいな表現
- 症状(認知症等)への対応
- 申し送り

問題解決のための会話

- 問題発生時の対応
- ケア会議

レベル測定後学習例



現場に即した語彙・文章・
会話例を提示。
学習の場は教室ではなく、
介護の現場。



各レベルに対応する学習例を提示。
本書は評価だけが目的ではなく、
次のステップへつながる学習もできる。
評価と学習を通して、日本語を
学ぶ力を育てることができる。

●会話例 (例)

アグス：井上さん、失礼します。
井 上：どうぞ。あ、アグスさん、こんにちは。
アグス：様子はいかがですか。
井 上：ありがとね。おかげさんで、いいよ。
アグス：それ、何ですか。
井 上：ふふふ、これ？ 孫に手紙をもらったんだよ。
アグス：そうですか。お孫さん、おいくつですか。
井 上：10歳。小学校5年生。歌が大好きで、優しい子なんだよ。この
前はクリスマスカードをくれてね。ええと、これが写真。
アグス：わあ、かわいい男の子ですね。少し井上さんに似ていますね。
井 上：うん、かな。私は孫が5人もいてね。
アグス：本当ですか、いいですね。*2) どんなお孫さん達ですか。
井 上：一番上の子はね、アメリカで勉強しているんだよ。
アグス：へー、そうなんですか。それで？

そうですね。えっ、本当ですか
はあいつも現場です。ここでは
ちょっと驚いたので使っています。
それで？ は話を促す表現です。
ここではお孫さんの話をもっと聞
きたいので使っています。



第4章

介護専門能力を向上させる日本語学習指導法(会話編)



本書の特長

日本語教育がわからなくても、
介護現場を知らなくても、
本書を使って協働できる

『測定』と『学習』のフローを通して、
「日本語を学ぶ力」「日本語を教える力」を
鍛えることができる

Teaching Japanese for foreign careworkers by Waseda Band Scales

外国人介護職 への 日本語教育法

ワセダバンドスケール(介護版)を用いた教え方

著・監修：宮崎里司

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授
東京大学国際高等研究所客員教授
日本言語政策学会(会長)

共著：中野玲子、早川直子、奥村恵子

●判型：B5判144ページ、本文2色刷

●ISBN：978-4-931400-86-3

●発行：日経メディカル開発

●発行日：2017年12月19日

●定価：2,500円+税

●商品コード：265150

●発売：日経BPマーケティング

日経メディカル開発





ルーブリックの評価指標

教育業界でもっとも注目される評価指標 [Rubric]



課題テーマ		評価点			
		1	2	3	4
評価項目	A	A-1	A-2	A-3	A-4
	B	B-1	B-2	B-3	B-4
	C	C-1	C-2	C-3	C-4
	D	D-1	D-2	D-3	D-4
	E	E-1	E-2	E-3	E-4
	F	F-1	F-2	F-3	F-4
		評価基準			



ルーブリックの第一人者

ポートランド州立大学の名誉教授
ダネル・D・スティーブンス教授
[Introduction To Rubrics]
※邦題 大学教員のためのルーブリック評価入門

2015年ごろから日本の公教育の現場でも
導入が進んでいる[ルーブリック評価]

【①課題テーマ】【②評価項目】
【③評価点】【④評価基準】の4つの要素で
構成された、評価指標を指す。



ワセダバンドスケール（介護版）

外国人介護職・介護施設の日本人職員・日本語教師等、みんなで外国人介護職の職場での日本語能力を測定するツール

一般的な言語習得の順序とは異なる「介護現場に必要な日本語能力」を測定するツール

目的

① 協働する：

外国人介護職が日本語を使って介護現場でどのような業務を行っているかみんなで把握

② 教える力・学習する力をつける：

関係者それぞれが、現場実践に繋げるための学習方法を知る



外国人介護福祉士バンドスケール 業務・学習場面編

スケール	書く	聞く	話す	読む
1	ひらがな、カタカナが書ける。 自分の名前、	介護現場でよく使うことばが聞きとれる。 名前、あいさつ表現	自分の名前、利用者の名前が言える。短い自己紹介ができる。 はじめまして、〇〇です。 どうぞよろしく。	現場でもっともよく目にする文字や語句を読むことができる。 担当利用者の名前
2	頻度の高いことばは、漢字を使って書ける。 PCの日本語入力開始。 専門用語の練習・利用者の名前	【利用者】 利用者の簡単な要求や身体についての発言が聞き取れ、大意が理解できる。 のどが渴いた、背中がかゆい等→同僚の助けを求める	【利用者】 一方的な声かけができる。あいさつができる。 おはようございます。 元気ですか。	現場で使用頻度の高い簡単な漢字を見て意味がわかる。(ただし、読み方がわからない場合もある。) 施設の職員・利用者全員の名前・症状・介護用語
		【施設関係者】 業務に必要な必要最低限の指示が聞き取れ、理解できる。 お風呂に入れるなど	【施設関係者】 単純な欲求を述べるができる。わからないことを確認することができる。 ～したいんですが。～てください。 ～ってなんですか。	＜国家試験過去問題練習場面＞ 問題文の中に、知っている単語、表現がある。
3	決まった書式に定型表現を記入することができる。 バイタルチェック表、排泄チェック表等	同僚が使う専門用語と利用者が使う一般的表現の両方が理解できるようになる。 洗髪・髪を洗うなど	利用者と施設関係者等、相手によって、使用語彙・表現を使い分けることができる。 髪を洗いましょうか？ 洗髪しました。	見慣れた、且つ簡単な書類やチェック表等なら、読んで理解できる。 バイタルチェック表、排泄チェック表等 ＜国家試験過去問題練習場面＞ ふりがながあれば領域「介護」に関する問題を読むことができる。 ふりがな付き試験問題
4	施設の書式に従い、よく使う短い文を書くことができる。 PCを使用して、専門用語や漢字に正確に変換できる。 介護記録	利用者の要求や訴えを聞き、内容を理解し、適切な行動に移ることができる。 背中がかゆい等→発赤の有無を確認	利用者の欲求や訴えに対し、適切な返答ができ、行動に移ることができる。 背中がかゆいんですね？ちょっと見てみましょうか。	書類や記録によく使われるフレーズなら、補助があれば読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「介護」に関する問題なら読み、解答することができる。 ふりがな付き試験問題



5	書類や記録によく使われるフレーズなら、文章で記録できる。 介護記録 PC で書類を作成する	利用者の個人的な内容や方言による長い話を聞いて理解し、話し相手ができる。 身体上のケアに加え、精神上的のケアもできる。	短い文を使って、身体上のやり取りに加えさまざまな内容のやり取りができる。相槌が打てる。話題を変えたりしながら会話が続けられる。	書類や記録によく使われるフレーズなら、一人で読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「ところとからだのしくみ」に関する問題を読むことができる。 試験問題
6	補助があれば、書類や記録を書くことができる。 介護記録 利用者家族には丁寧な書き方ができる。 行事案内等	初任者研修終了程度の専門知識をもち、スタッフ間の専門用語を用いた長い会話が聞き取れる。 日常業務の申し送りに参加できる	【利用者】病状や利用者の違いにより、聞きやすい話し方やことばの違いを選ぶことができる。 【利用者家族】 丁寧なことば違いができる。 【施設関係者】 よく使う専門用語を使って、話すことができる。	書類や介護記録を読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「ところとからだのしくみ」に関する問題なら読み、解答することができる。 試験問題
7	書類や記録を一人で書くことができる。 介護記録	介護福祉士国家試験合格に必要な専門的な漢字語彙や抽象的な表現が多用される会議などの内容も概ね理解できる。 ケア会議等に参加して、周囲の発言を概ね理解できる。	ケア会議などのあらたまった場面で自分の担当利用者に関する意見を言うことができる。	どのような内容や書き方であっても、業務に関する難しい専門用語や長い文章が読める。 ケアプラン ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「人間と社会」に関する問題を読み、解答することができる。 試験問題
8	書類の種類に関わらず、文体や表現を適切に使用し、さまざまな文章を書くことができる。 介護記録、ヒヤリハット報告等	介護福祉士国家試験合格に必要な全ての内容を正しく聞き取り、理解できる。 ケア会議等に参加して、周囲の発言を完全に理解できる。	介護知識を活かして状況を理解し、円滑に話を進めることができる。 ＜国家試験二次試験対策場面＞ 二次試験で想定される、さまざまな状況に応じた話し方を選ぶことができる。 試験合格に向けた適切な声かけ	あらゆる文や文章を独力で読み、理解できる。文章の目的が分かる。 書類全般 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 総合問題を含み、全ての領域の問題に解答できる。 試験問題 ＜国家試験二次試験対策場面＞ 二次試験の問題文を読み、理解することができる。

ワセダバンドスケールの各レベルの目安

- Level 1&2 介護の基礎的な語彙や表現がわかる
一方的な声かけができる。
- Level 3&4 利用者の気持ちにあわせた対応ができる
双方向の会話ができる。
- Level 5&6 介護の専門知識を使って対応ができる
申し送りに参加できる
- Level 7&8 問題発生時に対応できる
ケア会議等に参加できる

語彙編で学ぶ学習のステップ

Level 1 & 2 施設の語彙・体の部位

施設内の名称・利用者の名前・他職種名

体の部位・骨の部位



Level 3 & 4 介助のための語彙

身体の状態の語彙

心を理解するための語彙



Level 5 & 6 介護記録の語彙

介護記録で使う語彙

国家試験レベルの語彙



Level 7 & 8 全ての書類の語彙

ヒヤリハット・事故報告の語彙

ケアプランの語彙

文章編で学ぶ学習のステップ

Level 1 & 2 PC入力

ひらがな・カタカナ

漢字の変換



Level 3 & 4 定型的な記録・チェック表

先輩の記録を真似できる

バイタルチェック表・排泄表等への記入



Level 5 & 6 普段と違う時の記録

普段と少々違う様子がある時の記録

普段と大きく違う様子がある時の記録



Level 7 & 8 問題発生時の記録・ケアプランに沿った記録

ヒヤリハット・事故報告

ケアプランに沿って書く

会話編で学ぶ学習のステップ

Level 1 & 2 一方的な会話

一方的な声かけ

簡単な指示の理解



Level 3 & 4 双方向的な会話

気持ちに寄り添った会話

専門用語・症状名・病名の理解



Level 5 & 6 心と体のケアのための会話

丁寧な表現

症状（認知症等）への対応

申し送り



Level 7 & 8 問題解決のための会話

問題発生時の対応

ケア会議

ケースⅠ) 定住者・永住者

- ・日本人配偶者ビザにて滞在
- ・介護ヘルパー歴 13年

ワセダバンドスケールレベル

読む 2 書く 1 聞く 4 話す 4

得意なこと

- ① 利用者の心に沿った介護をする

課題

- ① PC入力
- ② 介護記録を読む・書く
- ③ 介護の専門知識に基づいた介護をする

ケース 1 の学習例

課題Ⅰ PC入力する

*介護記録のディクテーション

火傷をして、病院で処置を受けた。

朝から調子が悪く、嘔気がすると訴えがあった。

『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』



ケース 1 の学習例

課題 2 介護記録を読む・書く

* 文例集などを利用した記録を読む練習

入浴前の血圧が140/90mmHgといつもより高め。深呼吸してもらい再度測ると通常の130/80mmHgだった。念のため、看護師に入浴可否の判断を仰いだ。

『外国人介護職への日本語教育法』p.96

* 国家試験の総合問題（事例）を利用した記録を書く練習

次ページへ・・・

介護福祉士国家試験第29回 （事例） 問題117-119

Kさん（88歳、男性）は、妻（82歳）と二人暮らしであった。5年前にアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）と診断された。1年ほど前から、会話がかみ合わなくなった。離れて暮らす1人息子のこともわからなくなり、「会社に行く」と外出して行方不明になることがあった。そのため、自宅での介護が困難で、半年前に認知症対応型生活介護（グループホーム）に入居した。入居時は表情が陰しく精神的に不安定で徘徊がたびたびみられた。しかし、事業所内で取り組んでいた回想法に参加すると、徘徊は見られなくなってきた。

ある日の午後、「痛い、痛い」と繰り返しながら足を叩いて、床に座り込む様子が見られた。



問題1 （第29回介護福祉士国家試験問題117より出題）

利用者：Kさん（88歳、男性） 5年前よりアルツハイマー型認知症
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）入居
入居した頃は、表情が陰しく、精神的に不安定で、徘徊が見られた。
回想法に参加したところ、徘徊はしなくなってきた。



状況：ある日の午後、「痛い、痛い」と繰り返して言いながら、足を叩き、そのまま床に座りこんでしまった。

- ① 介護職は、Kさんが床に座りこんだ時に、どのような対応をしますか。
- ② 利用者の状況と介護職の対応をあわせて、記録を書いてください。



ケース 1 の学習例

課題 3 介護の専門知識に基づいた介護をする

＊第 29 回介護福祉士国家試験問題 33 より

Jさん（78歳、女性）は、軽度の認知症(dementia)がある。K訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問した時、Jさんは、K訪問介護員（ホームヘルパー）が前日に準備した夕食を食べていなかった。

Jさんは、不安そうな表情で昨日から食卓にある料理を指して、「これは私が食べていいの?」「これは誰のもの?」と、K訪問介護員（ホームヘルパー）に尋ねてきた。冷蔵庫の中のお茶を飲んでいただけで、他には何も食べていない様子だった。

問題 33 食卓にある料理はJさんのものだと説明した後、Jさんに対するK訪問介護員（ホームヘルパー）の声かけとして、最も適切なものを選びなさい。

- 1 「なぜ食べなかったのですか」
- 2 「食べなければだめですよ」
- 3 「無理してでも食べてください」
- 4 「一緒に作って食べましょう」
- 5 「1日に3食は食べましょう」

＊利用者の拒否や訴えに対応しましょう。

「お金や物がなくなった」

利用者	認知症あり
場 面	居室滞在時／利用者居室
行動（介護技術）	居室に行き、納得するまで何回も探す。
コミュニケーション （声かけ）	「一緒に探してみませんか」 「今日こんなに探してもないので、明日にしましょう」 「ここには泥棒がいないので、安心してください。必ず出てきますよ」
フォロー	対応できる品目は探した後、代替りの物を置く。 出てきたら一緒に喜び安心してもらう。